



～ 夢ひとすじに ～  
**宮原中だより**  
 学び 磨き 鍛え 羽ばたけ

令和 8 年度 第 1 号  
 令和 8 年 4 月 8 日 (水) 発行  
 さいたま市立宮原中学校  
 ホームページアドレス  
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp>  
 メールアドレス  
[miyahara-j@saitama-city.ed.jp](mailto:miyahara-j@saitama-city.ed.jp)



『仲間とうまく付き合う方法』

校長 田中 和浩



温かな日が差し、草花が賑わいを見せてくれる季節となりました。保護者の皆様におかれましては、本日、お子さまがご入学、ご進学なされましたことについて、改めてお祝いを申し上げます。本校で、3年目の校長職を務めさせていただきます、田中 和浩 (たなか かずひろ) と申します。どうぞよろしくお願いたします。

さて、新しい学年、新しい学級がスタートしました。1年生の皆さんは、初めての中学校生活への期待で胸を膨らませていることでしょうか。進級した皆さんは、新たな仲間との出会いに期待と不安を抱えているかもしれません。

人との出会いは、これからの学校生活を豊かにしてくれる大切な宝物です。しかし、初めての環境では、誰もが「うまく話ができるか」「仲間ができるか」と心配になるものです。そのようなときは、少しだけ勇気を出して行動してみることで、仲間づくりの第一歩となります。そこで、『仲間とうまく付き合う方法』について考えてみました。

1 「あいさつ」は、はじめの一步 (声をかける勇気)

「おはようございます」「よろしくお願いたします」など、短い言葉でも相手に自分の気持ちを伝えることができます。あいさつは、相手との距離を縮めることができる言葉です。

2 相手の話をよく聴くこと (相手に関心をもつこと)

「自分のことをわかってほしい」と思う気持ちは自然なことです。だからこそ、まずは相手の話に耳を傾けることが大切です。「(話を)聞いてくれている。」と感じた瞬間、安心して心を開けるようになるものです。相手に関心をもち、何か質問してみましょう。

3 違いを認め合うこと (適度な距離を保つこと)

人はみな、性格も、得意なことも、考え方も、家庭でのルールも少しずつ違います。自分と違っていても「そういう考え方もある」と受け止める姿勢が大切です。適度な距離感を保ち、お互いを尊重することで、信頼関係を築くことができます。

4 困ったときは・・・

友だち付き合いには、時に悩むこともあります。自分たちだけでは解決できないことも起こります。そのようなときは、先生や家族に相談してください。一人で悩まず、身近な大人を頼りにしてほしいと思います。

お子様が、豊かな人間関係を築けるよう、教職員一同、支援してまいります。

校訓 『夢ひとすじに』

<学校教育目標>

- 学 び 生活リズムを整え、主体的に学習し、授業と家庭学習を大切にできる生徒
- 磨 き 生命尊重の心、思いやりの心、感動する心、奉仕の心をもつ生徒
- 鍛 え 心身ともに健康で、努力を惜しまず、最後までやり抜く生徒
- 羽ばたけ 他者とのコミュニケーションを大切に夢と希望、自信と誇りをもてる生徒

<目指す生徒像> — 自信と誇りある自分自身の実現 —

〔「凡事一流」に行動することで、自信と誇りある自分づくりを実践できる生徒〕

- ① さわやかなあいさつができる
- ② 校歌を大切に、心を込めてしっかり歌える
- ③ 靴のかかとをしっかりとそろえられる
- ④ 身の回りをきれいに清掃できる
- ⑤ 時間の大切さを知り、時間を守る
- ⑥ 誰かがつらい時、共感的な言葉が言える